

ごみの出し方

再確認



進めよう！
ごみ減量と
リサイクル



- 「アルミ箔^{はく}って燃やせないごみだけ？」
- 「鉢植えの土^{つち}って燃やせるごみかな？」
- 「雑^{ぞう}がみは紙袋に入れて出していいの？」

皆さん、すぐにわかりますか？
答えは全て「**×**」です※。

今回の特集では、
間違いやすい分別や生ごみの減量法、
新たに始まるリサイクルの取り組みを紹介。
毎日出るごみをもっと減らすことができないか、
このページを読んで確認しましょう！

※アルミ箔は燃やせるごみ、鉢植えの土は燃やせないごみ、
雑がみは透明な袋に入れて出すのが正しい出し方です

札幌の最近のごみ事情

[詳細](#) 環境事業部企画課 ☎211-2912

ごみの処理には多くのエネルギーを使うため、ごみが増えると環境への負担が大きくなります。環境や限りある資源を守るため、これまでも市と市民が力を合わせてごみ減量に取り組んできました。

21年
7月 **新たな
ごみルールが開始**

成果

**篠路清掃工場を廃止！
470億円の節約に成功**

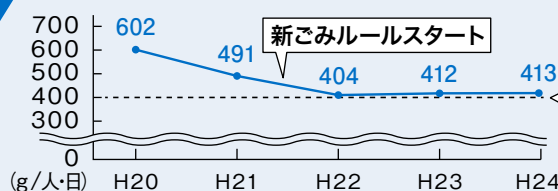
雑がみの分別収集や燃やせるごみなどの有料化を始めた「新ごみルール」により、燃やせるごみなど資源にできない「廃棄ごみ」の量は大幅に減少。篠路清掃工場を廃止し、施設の更新費など計470億円を節約できました。

市民一人一人の努力の成果です！

現在 **ごみの量は微増傾向に！**

しかし、22年以降「廃棄ごみ」は微増に転じました。このまま増え続けることがないよう、私たちにはごみの出し方を見直すことが求められます

■家庭から出される1人1日当たりの廃棄ごみ量



市の目標
1人1日
400g以下
まで
あと一歩！

今あらためて市民の力を結集しよう！